

事業戦略と環境経営の一体化を目指して

ISO14001改正国際シンポジウム

まず、わが国の環境経営を取り巻く状況を見てみたい。2002年と12年の環境省による企業調査を比較すると、02年は環境配慮の取り組みを「社会貢献の一つ」と考える企業が約4割、「最も重要な戦略」が22%、「業績を左右する重要要素」が30%近くあつた。質問が少し違うが、12年の調査では環境への取り組みは「企業の社会的責任」であると認識する企業が8割ある一方で、「重要な戦略」が7%に落ち着いた。

この変化をどう考えればいいのか。02年ごろは、特に欧州を中心に厳しい環境規制が始まり、それが日本の輸出業に影響を与えていた。そのため「重要な戦略の一つ」は、業績を左右する重要要素の割合が高かつたと思う。規制対応が収束し



奥野
麻衣子氏

ISO/TC207/SC1
日本代表委員会
三菱UFJリサーチ&コンサルティング

基調講演

環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」が1996年の発行以来、初めて大幅に改正される。今秋に正式発行される見込み。環境経営と事業戦略との一体化を促し、経営者のリーダーシップも求め、より経営に生かせる規格へと生まれ変わることになる。日本規格協会とISO/TC207/SC1/WG5東京会合実行委員会が主催し、2月に開かれた「ISO14001改正国際シンポジウム」事業戦略と環境経営の一体化を目指して、(三菱UFJリサーチ&コンサルティング共催、日刊工業新聞社、日本マネジメントシステム認証機関協議会、日本適合性認定協会など協賛)では、改正作業を担当する各国代表者が新規格の狙いやメリットなどを解説した。

スーザン・ブリッグス氏

A black and white photograph of a woman with glasses, wearing a dark jacket with a large brooch and a pearl necklace, speaking into a microphone. She appears to be giving a speech or presentation.

ISO14001改正の内容と意図

—事業と一体化した戦略的環境経営

持続可能な成長を支援

見名、所見名、其の日記の文、漫七百立等寸法、重要性等の管理書一庫

新規格、経営に活用しやすく

今秋に正式発行へ 来月、ロンドンで最終会合

環境への配慮は高レベル
ビジネスに関連づける視点

1 改正の影響 環境経営への示唆



ISO 9001, ISO 14001 2015年改訂。 私たちだからこそできるトータルなソリューションを提供します。

最新情報は **www.jsa.or.jp/** にアクセス!